



富山県立大学



9月18日
(水)

募集締切

最新の知識・技術の習得に！

先端技術リカレント 教育セミナー2019

富山県立大学では、人生100年時代を見据え、富山県内の技術者向けに、新しい知識の習得により、仕事の幅を広げるきっかけづくりとなるよう「先端技術リカレント教育セミナー」を実施しています。このたび、看護学コースの受講者を募集しますので、是非ご参加ください。

座学とグループワークで実践的手法を学ぶ

新設 看護学コース

多職種連携アプローチを使った困難事例の解決

(全7回、募集定員20名程度)



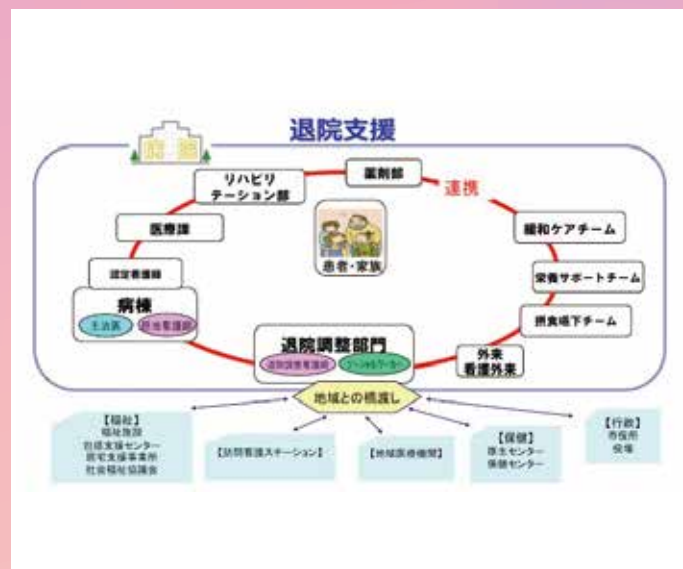
多職種連携アプローチを使った困難事例の解決

開 講 時 間	18：30～20：00	受講料	10,000円（研究協力会会員は5,000円）
受講者に求められるレベル	・医療・保健・福祉に関連した公的資格を持っている方（勤務の有無は問わない）で最新の制度や知識を学び直したい方 ・多職種連携による事例検討に興味がある方		
カリキュラムの趣旨	地域や施設で関わる事例は、時代の変化に伴い、複雑な家族歴や病歴を背景に持つ場合が多くなってきており、1つの専門職だけでは対応が困難になっています。そのため、今後は医療・保健・福祉の様々な専門職種がその専門性を生かしながら連携して事例にアプローチすることがより重要となります。この講座では、基盤となる制度や事例検討手法、多職種連携のアプローチ方法について学び、またモデル事例や演習事例を用いて、受講者がディスカッションやロールプレイ等を通じ、効果的な課題解決の技術を習得していきます。		

<カリキュラム>

月 日	テ ー マ	内 容	キーワード	担当講師	場所
① 10月2日 (水)	困難事例の現状と課題解決に関連する制度	医療・保健・福祉職が対応する困難事例の現状とそれに関わる制度について学びます。	困難事例の定義と現状 フォーマル・インフォーマルな社会資源	地域・在宅 看護学教員	CIC5階 研修室
② 10月9日 (水)	事例検討の方法と課題解決に向けたアプローチ	事例検討の具体的方法や理論について学びます。	事例検討 エコマップとジェノグラム アセスメントツール	地域・在宅 看護学教員	CIC5階 研修室
③ 10月17日 (木)	多職種連携の意義とその方法	多職種連携の必要性及び現状と課題について学びます。	多職種連携 現状と課題 包括的視点	千葉大学 酒井郁子教授 地域・在宅・老年 看護学教員	CIC5階 研修室
④ 10月30日 (水)	モデル事例による事例検討	モデル事例を参考に役割分担や多職種による効果的なアプローチ法について学びます。	モデル事例 多職種と役割分担 具体的連携方法 ロールプレイ	地域・在宅 看護学教員	CIC5階 研修室
⑤ 11月6日 (水)	演習1: 演習事例を基にした多職種によるディスカッション	演習事例を基にグループ演習を行い、事例の課題解決へのアプローチを試みます。	グループ演習 効果的な連携システムの構築	地域・在宅 看護学教員	CIC5階 研修室
⑥ 11月13日 (水)	演習2: 演習事例を基にした多職種によるディスカッション	演習事例を基にグループ演習を行い、事例の課題解決へのアプローチを試みます。	グループ演習 効果的な連携システムの構築	地域・在宅 看護学教員	CIC5階 研修室
⑦ 11月27日 (水)	演習のまとめと リフレクション	これまでの講義や演習内容のリフレクションを行い、そこの気づきや学びをフィードバックします。また、具体的な現場での活用について提示します。	フィードバック リフレクション 活用方法の提示	地域・在宅 看護学教員	CIC5階 研修室

講義資料 (抜粋)



多職種連携

専門職はお互いの専門性を学ぶ一方で、**どの職種にも共通する考え方（患者・利用者中心性）**があることを知り、よりよい連携を学び、実践する必要がある



連携の定義

共有化された目的を持つ複数の人々及び機関（非専門職も含む）が、単独では解決できない課題に対して、**主体的**に協力関係を構築して、目的達成に向けて取り組む**相互関係の過程**



退院調整カファルス

【目的】

入院中の患者の退院時における円滑な情報共有をすすめる。患者の主治医・病棟スタッフをはじめとする患者に関わる病院スタッフと、**地域で在宅療養を担う関係職種**と共同で、退院後の在宅療養をおこなっていく上での説明・指導をおこなうことで、患者・家族の不安の軽減に努める。医療やケアの継続を図る。

【対象】

退院後在宅復帰を目指す患者及びその家族

【方法】

地域の関係機関の職種に来院を依頼し、主治医や病棟看護師院内スタッフと共同して、患者・家族に在宅療養上必要な説明や指導をおこなう。



地域包括支援センター：高齢者や家族の相談窓口

誰でも利用可能



受講申込書

富山県立大学地域連携センター行 FAX:0766-56-0391

※申込書をご記入のうえ、地域連携センターまでお送りください。(持参、郵送、FAX、必要事項を記入したE-mailでも受け付けます)

先端技術リカレント教育セミナー2019 看護学コース 受講申込書

(ふりがな) 申込者氏名			年齢	
所属機関名			所属 部署	
所属機関の住所	〒 -			
連絡先 ※休講、変更があったときの連絡先として必ずご記入願います。	TEL		FAX	
	E-mail			
現所属で担当する、または過去に経験した業務内容を具体的に ご記入ください。				
セミナーでどのようなことを学びたいか ご記入ください。				
セミナーで学ぶことを どのような業務に役立て たいかご記入ください。				

※ご記入いただいた個人情報については、休講、変更等の連絡のほか、受講傾向の分析やその他ご案内のみに使用し、それ以外の目的には無断で使用いたしません。

<受講申込について>

募集期間	令和元年8月13日(火)～9月18日(水) ※定員になり次第締切の場合がありますので、ご注意ください。その場合は地域連携センターホームページでお知らせします。 ※原則先着順となりますが、応募多数の場合は1社あたりの受講者数を調整する場合がありますのでご了承ください。 ※受講者へは、講義初日の約1週間前までに受講決定通知を郵送します。
受講料	10,000円(研究協力会員は 5,000円) 受講料は、納入通知書による納付となります。最寄りの金融機関に納入通知書を持参しお支払いください。ただし、郵便局での取り扱いはできません。 なお、理由のいかんを問わず、いったん納付された受講料は一切返還を行いませんのでご了承ください。
その他	・8割以上の講義を終了した場合、修了証を交付します。 ・基本的に提示した日程・内容で行いますが、都合により変更の可能性あります。 ・受講生が本学の行う教育及び研究に支障をきたした時、もしくは学内の秩序を乱した時、その他受講生としてふさわしくない言動をした場合は、受講を停止することがあります。なお、受講停止の場合であっても、納付済みの受講料は返還いたしません。



申込・お問い合わせ先

公立大学法人 富山県立大学 地域連携センター

〒939-0398 富山県射水市黒河5180
 TEL. 0766-56-0604 FAX. 0766-56-0391
<https://www.pu-toyama.ac.jp/>
 E-mail: shogaigakushu@pu-toyama.ac.jp